

章	5	身近な環境に配慮した、地球にやさしいまち
大項目	02	快適環境の保全と創出
施策	01	環境施策の総合的展開と推進

目的

区民、事業者、様々な団体等との連携により、環境基本計画を推進します。環境白書によって環境基本計画の進捗状況を点検するとともに、環境白書の報告会を開催して、環境保全の取り組みについて普及啓発を図ります。

対象・手段

環境白書報告会を通して、環境行動指針の普及を図るとともに、環境基本計画の進行管理をします。白書報告会の中で問題点がでてきた場合には、ワークショップを開いて検討し、パネルディスカッションを行います。18年度には、ワークショップでの検討結果について区民等から広く意見を聞くため、シンポジウムを開催しました。

施策の方向

環境白書の作成と報告会の開催により、環境基本計画を着実に推進し、環境施策の総合的展開を図ります。

成果指標

指標名		定義		目標水準		
環境白書の作成		環境白書の作成		(毎) 年度に (1回) の水準達成		
環境白書報告会の開催		環境白書報告会の開催		(毎) 年度に (1回) の水準達成		
				() 年度に () の水準達成		
施策の達成状況						
		単 位	平成16年度	平成17年度	平成18年度	備 考
施策 成果 指標	目標値1	回	1.00	1.00	1.00	
	実績1	回	1.00	1.00	1.00	
	目標達成率1 = /	%	100.00	100.00	100.00	
	目標値2	回	1.00	1.00	1.00	
	実績2	回	1.00	1.00	1.00	
	目標達成率2 = /	%	100.00	100.00	100.00	
	目標値3					
	実績3					
	目標達成率3 = /					

所管部	環境土木部
-----	-------

主な取組み

- 毎年度1回、環境白書を作成
- 毎年度1回、環境白書報告会を開催
- 必要に応じて、ワークショップ、シンポジウムを開催

課題

区民・事業者・NPO等と連携、協働して環境基本計画の進行管理、見直しを行っていく必要があるため、「環境白書を読む会」への参加者をさらに増やしていくことが課題です。

評価

総合評価	
<p>本施策は、環境基本計画や環境行動指針に基づき、環境施策を総合的に展開するとともに、環境に関する区民・団体・事業者の活動促進や団体の育成を行うものです。</p> <p>平成16、17年度には環境白書を作成し、環境基本計画の進捗状況を点検しました。平成17年度には環境白書の報告会を開催し、環境基本計画に掲げられた施策の進捗状況を公表するとともに、区民・事業者・NPO等と検証することもでき、環境施策の着実な推進と必要な見直しことができました。</p> <p>平成18年度には、後期の環境基本計画策定に向けて、「環境施策検討会」(ワークショップにあたる会議)を開催して環境基本計画の見直しを進めました。環境白書を作成し、「環境白書を読む会」(「環境施策検討会」のメンバーをパネリストとしたシンポジウムと、白書の報告会を兼ねた会)を開催しました。これらのことから、計画見直しに向けて着実な取組みを進めることができたと評価しています。</p>	B

今後の取組み・改革の方針

- 環境白書の無償頒布、ホームページ上での公開、区民・事業者等を交えた報告会のほか、シンポジウムの開催などにより環境施策を広く公表していきます。
- また、地球温暖化対策の推進を強化するための環境基本計画の見直しについて、環境審議会に諮問し、審議会及び環境施策検討会で検討を進めていきます。

施策を構成する計画事業

	総合評価	頁	総合評価	頁
環境白書の作成と報告会の開催	B	269		